



## 選挙

◆厚真町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙  
地方自治法第182条第1項および第2項の規定により、厚真町選挙管理委員会委員および同補充員の選挙が行われました。地方自治法118条の規定により選挙委員からの指名推薦があり、選挙結果のとおり次の方々に決定しました。

【厚真町選挙管理委員会委員】  
大浦真則さん（上厚真）、畑嶋賢蔵さん（東和）、高田雅晴さん（共和）、矢部励さん（豊丘）

【厚真町選挙管理委員会委員補充員】  
秋永晴美さん（富里）、山本隆司さん（幌内）、桐木洋光さん（軽舞）、上田輝美さん（上厚真）

## 同意

◆厚真町教育委員会委員の任命  
厚真町教育委員会委員に池川徹さん（表町）が任命されることが同意されました。

◆自治功労表彰  
元農業委員会委員の日西善博さん（表町）の自治功労表彰が同意されました。

## 議案

◆厚真町墓地使用条例の一部改正  
◆厚真町特別工業地区建築規制条例の一部改正  
◆新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事（その5）請負契約の締結  
◆財産の取得…インターネット閲覧

## サーバー

◆財産の取得…学校給食センター厨房機器  
◆令和5年度厚真町一般会計補正予算（第8号）  
令和5年度厚真町一般会計補正予算（第8号）は、歳入歳出それぞれ1億5203万4千円が追加され、歳入歳出予算の総額はそれぞれ100億7861万1千円となりました。補正された主要事業は次のとおりです。（千円以下切り捨て）

- ・庁舎周辺等整備事業（地盤調査委託料、3300万円）
- ・ゼロカーボン推進事業（390万円）
- ・持続的畑作生産体系確立支援事業（165万円）
- ・小規模土地改良事業（700万円）
- ・森林再生・林業復興整備事業（1680万円）
- ・庁舎周辺等整備事業（文化交流施設解体設計委託料、800万円）

## 報告

◆定期監査の結果報告  
◆現金出納例月検査の結果報告  
◆教育委員会の事務事業の点検・評価報告  
◆令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

## 承認

◆専決処分承認（令和5年度厚真町一般会計補正予算（第7号））  
◆専決処分の承認（令和5年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定（第3号）））

## 認定（付託）

◆令和4年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定  
◆令和4年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定  
◆令和4年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定  
◆令和4年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定  
◆令和4年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定  
◆令和4年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

## 意見書

◆「再審法（刑事訴訟法の再審規程）」の改訂を求める意見書  
◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書  
◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

# 議会

## 令和5年 第3回定例会

令和5年第3回町議会定例会が9月12、13日の2日間の会期で開かれました。選挙1件、令和5年度一般会計補正予算など議案9件、報告8件、同意2件、承認2件が審議され、いずれも原案通り可決・承認されました。また、認定6件は決算特別委員会に付託され、閉会中に継続審査されます。さらに、意見書3件が提出され、採択されました。

## 行政報告

### 【水稲】

胆振農業改良普及センター東胆振支所が調査した農作物の生育状況によると、水稲は、は種から移植期まで日照時間、気温は良好に推移し、苗の生育は平年並でした。移植作業は概ね順調に進み、東胆振全体では平年並の5月30日に終了しています。分けつ始は6月8日と平年より2日早く進みまし。6月から7月にかけて高温多照で生育が促進され、7月1日時点の1㎡当たり茎数は平年比140%、幼穂形成期で7月2日と平年より4日早く生育が進みました。出穂期は7月26日と平年より6日早く経過しています。8月も高温で推移したため、成熟期及び収穫期も平年より早くなると推定されます。また、稔実調査による不稔率は、冷害危険期も高温傾向で推移したため、中苗「なつばし」で6.1%（平年値7.4%）程度と1.3%低くなっています。一方、出穂期間が高温で経過したため、品質低下が懸念されます。

農林水産省が発表した8月15日現在の本年産水稲の作柄概要では、北海道は「やや良」となっています。全国では「やや良」が5道県、「平年並」が34道府県、「やや不良」が7県となっています。なお、東日本を中心とした早場地帯の作柄は、概ね「平年並」から「やや良」と発表されています。このまま、高温で推移すると成熟期

が早まることが予想され、収穫作業も平年より約1週間程度早くなると推定されるところです。

### 【秋まき小麦】

秋まき小麦は、昨秋が温暖に経過し越冬前の生育量が十分に確保されました。雪解けが早く進んだため起生期は平年より4日早くなり、4月以降は高温で推移し、幼穂形成期は4月27日、出穂期は6月1日となり、生育は平年より2日早く推移しました。6月中旬から収穫前までは高温少雨で経過し、成熟期を7月16日に迎えました。収穫作業は降雨予報で早まり、平年より7日早く終了しました。登熟日数は45日と平年並で、粗麦重量は平年並となる見込みです。

8月31日現在の調製状況（厚真地区分）では、秋小麦の受入重量は1472トンで、等級麦は1339トン（約91.0%）を見込んでいます。また、春小麦の受入重量は998トンで、等級麦は878トン（約88.0%）を見込んでいます。

### 【ジャガイモ】

ジャガイモは、植付作業が平年並に進み、萌芽も5月16日と平年並みになりました。病害虫の発生は少なく、高温多照により生育は平年よりやや早く進みました。開花期は6月18日、莖葉黄変期は7月29日に迎えています。収穫作業は8月上旬から始まり、順調に進んでいます。7月下旬の坪掘調査では、1株あたりの数はやや多く、でん

粉含量も平年並みです。

### 【大豆】

大豆は、は種が平年並に終了し、出芽後は寡照傾向で経過したものの、生育期間中の高温により、草丈がやや短く推移しました。その後、気温は高めに移り、開花期は平年並の7月15日に迎えています。現在、草丈、葉数は平年並、さや数は平年より多くなっています。

### 【小豆】

小豆は、は種および出芽期はともに平年並みに進み、その後の高温多照により生育が進み、開花期は平年より5日早い7月19日に迎えています。平年に比べ草丈は長く、葉数はやや多く、さや数は少なく推移しています。

### 【野菜園芸】

そ菜園芸では、ホウレン草は、5月6月は病害虫の被害もなく生育も良好で潤沢に出荷が続いていましたが、8月からの高温の影響によりマダラ症やトロケ等が発生して製品率が低下し、生育停滞や発芽後の焼けにより出荷量が減少しています。価格は平年よりやや高値で推移しています。

カボチャは、定植作業は順調に進みましたが、5月下旬からの曇天・低温で生育は緩慢となり停滞傾向でした。6月下旬からの好天で生育は回復し、着果も良好でしたが着果数が多い場合は小玉傾向となりました。また、8月からの高温の影響で、後作のカボチャは品質低下が懸念されます。価格は平

年よりやや高値で推移しています。

ブロッコリーは、高温の影響により軟腐病・奇形・花蕾のゆるみ等の発生が増加し製品率が低下しています。ほ場でも収穫前の腐敗が発生しており出荷量が減少しています。生育は良好で、1.2作分前倒しの出荷状況です。価格は、7月に道内の各産地が出荷のピークとなり、やや安値で推移しましたが、現在は平年並みの価格で推移しています。

花きは、7月中旬以降の好天により前進開花となり草丈は短く製品率は低下しています。8月は高温の影響で防除ができず、害虫の発生や色抜け、草丈も短く品質の低下が見られます。ハスカップは、5月上旬まで好天が続き花芽が多く生育良好でしたが、開花時期の5月中旬からの低温により着果がばらつき生産量は平年並みとなりました。

近年は、7月中旬から高温が続く傾向にあり、気象変動が大きい年が続いています。また、コロナ禍やウクライナ侵攻に端を発した肥料や飼料などの農業生産資材の高騰は依然として高い水準にあり、農業経営にも影響が出ています。関係機関と連携して的確に対応するとともに、収穫作業の最盛期を迎えるにあたり、農作業事故に十分注意されるよう生産者への呼びかけを強化します。